

第26回統一パレード・集会宣言

いま日本にはアベノミックスという亡霊が闊歩（かつぽ）しています。私たちの横浜環状道南線反対の運動は26年前に始まりました。無駄な公共事業、環境破壊、国家予算の無駄使いのバブルの時代が終わり、コンクリートより人を大事にしようという時代の始まりでした。

いままた、国土強靱化（こくどきょうじんか）とオリンピックを大義名分に無駄で無理な公共事業に惜しみなく国家予算が使われ、増税に苦しむ庶民を他所に、世の中には無駄な資金が溢れ株価だけが上がっています。あの時代と同じです。あの時代の亡霊が現れました。

亡霊に憑りつかれた国土交通省やNEXCOは、横環南線建設準備を強引に進め、土地の収容率が50%以下にもかかわらず強権的な強制収容を始め、終の棲家（ついのすみか）と選んだ私達の土地を奪い、環境を破壊し、地域を分断しようとしています。

みなさん！この亡霊を退治しましょう！あれほど心配したこの国の借金は1000兆円を超えました。環境破壊のつけは異常気象と大規模災害という形で、日本国中で頻発しています。地球規模の温暖化は、もはや引き返せないところまで来つつあります。

横環南線工事のダンプカーや重機は、大量の汚い排気ガスや二酸化炭素を出します。横環南線が出来れば、1日6万台の自動車が我々の住宅地を通過して行きます。

アベノミックスは実体のないマネーゲームです。足のない幽霊です。この亡霊を生き返らしてはなりません。われらの大地を守るだけでなく、かけ替えのない地球を次世代に引き渡すためにも、この亡霊を退治しましょう。

横環南線もあの時代の亡霊です。復活は許しません。住民無視の建設は許しません。緑豊かな円海山の自然を守ります。豊かな田谷の農地を守ります。これ以上、負の遺産を子供たちに残すわけにはいきません。

横浜環状道路南線の建設計画が白紙撤回を含む抜本的見直しになるまで頑張りましょう。

子供たちの未来のために！

高らかに宣言します。

2014年11月23日

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会（連協）

庄戸四町会合同道路委員会

新設道路建設反対委員会

原宿の生活環境を守る会